

学 校 名	学 年	教 科
四 日 市 市 立 西 陵 中 学 校	第 3 学 年	国 語

1 学習のねらい等

学習のねらい	○自分のものの見方や考え方を深め、目的や場面に応じて的確に話したり聞いたりする力を育てます。 ○さまざまな材料をもとにして、自分の立場を明らかにして、論理的に書き表す力を育てます。 ○目的や意図に応じて文章を読み、広い範囲から情報を集め、効果的に活用する力を育てます。 ○幅広い言語知識と確かな筆記力を身に付けさせます。 ○進んで読書をし、これを生活に役立て自己を向上させようとする態度を育てます。
使用教材	教科書：『国語3』（光村図書），『新しい書写一・二・三年用』（東京書籍） 補助教材：国語の学習（明治図書），漢字の学習（明治図書）， 国語便覧（浜島書店），すらすら基本文法（浜島書店）

2 評価の観点および方法

評 価 の 観 点		評 価 の 方 法
①国語への関心・意欲・態度	・授業の用意を整え、積極的に学習活動に取り組める。 ・予習や課題に取り組み、提出物は期限を守って出せる。 ・ノートをわかりやすく工夫してまとめられる。 ・様々な分野の本に関心を持ち、進んで読書ができる。	・学習活動への参加の仕方や態度 ・課題の提出状況と内容 ・ノートやワークなどの作成状況 ・定期テストや評価テスト
②話す・聞く能力	・話し手のものの見方や考え方をしっかり聞き、自分の考えを広げたり深めたりできる。 ・自分の意見を、適切な声の大きさ、速さ、態度で相手に伝えられる。 ・文章の内容や特徴をとらえて、朗読することができる。	・課題の提出状況と内容 ・ノートや課題プリントなどの作成状況 ・定期テストや評価テスト
③書く能力	・課題に対する自分の立場や、伝えたい事柄をきちんと書くことができる。 ・文章の内容が相手に効果的に伝わるよう、表現を工夫して書くことができる。	・課題や作品の提出状況と内容 ・ノートや課題プリントなどの作成状況 ・定期テストや評価テスト ・読書感想文
④読む能力	・文章の構成や展開、説明や描写などに注意して読むことができる。 ・文章中の効果的な表現に注目し、自分の言葉遣いや文章を書くときに役立てることができる。 ・文章の内容を理解し、自分の意見をもつことができる。	・課題の提出状況と内容 ・ノートやワークなどの作成状況 ・定期テストや評価テスト
⑤言語についての知識・理解・技能	・漢字の読み書きが正確にでき、効果的に文字を書くことができる。 ・意欲的に辞典を活用し、文中の語句の意味がわかる。 ・文字の書き方を工夫し、丁寧に速く書ける。 ・言葉の決まりを理解し、正しく使うことができる。 ・古文について、基本的な事柄が理解できる。	・課題や作品の提出状況と内容 ・定期テストや評価テスト ・漢字テスト

3 学習計画

	各単元と主な学習内容	観点別評価の具体例
1 学期	言語「方言と共通語」（前年度分） 漢字「送り仮名」（前年度分） 詩「鍵」（前年度分） 深まる学びへ 詩「春に」 小説「握手」 漢文「学びて時にこれを習ふ」 練習「評価しながら聞く」 紹介「社会との関わりを伝えよう」 漢字「熟語の読み方」 視野を広げて 説明「月の起源を探る」 練習「文章の形態を選んで書く」 編集「魅力的な紙面を作ろう」 情報「『想いのリレー』に加わろう」 言葉「和語・漢語・外来語」 言葉を見つめる 俳句「俳句の可能性」「俳句を味わう」 説明「言葉を選ぼう」 文法「すいかは幾つ必要？」 書写（硬筆）	①作者の思い自分の体験を重ねながら、意欲的に朗読することができる。 ①登場人物の生き方や考え方、作品の構成などに関心をもつことができる。 ②相手や場面に応じて、自分の意見を正しく伝えることができる。 ②友達の意見を評価しながら聞き、自分の考えに生かすことができる。 ③根拠をもとにした意見を書くことができる。 ③伝えたい内容や目的を明確にして文章を書くことができる。 ④人物の言葉や動作から人柄や心情をとらえることができる。 ④筆者の意見を読み取り、それに対する自分の考えをもつことができる。 ④俳句について理解し、表現の深さを味わうことができる。 ⑤漢文の基本的なきまりを理解し、書き下し文や訓読文を読むことができる。 ⑤和語・漢語・外来語、敬語の用法を理解し、正しく使うことができる。 ⑤助詞・助動詞の意味や用法について正しく理解することができる。
2 学期	状況の中で 詩「挨拶」 小説「故郷」 練習「推敲して文章を整える」 論説「新聞の社説を比較して読もう」 言葉「慣用句・ことわざ・故事成語」 漢字「漢字の造語力」 いにしえの心と語らう 古文「古今和歌集仮名序」 「君待つと一万葉・古今・新古今」 「夏草一『奥のほそ道』から」 解説「古典を心の中に」 論旨を捉えて 論説「作られた『物語』を超えて」 練習「話し合いを効果的に勧める」 「話し合って提案をまとめよう」 批評「説得力のある文章を書こう」 詩「初恋」 文法「『ない』の違いがわからない」 書写（毛筆）	①詩に込められた作者の思いを捉え、人間や社会について自分の考えを深めることができる。 ①作品に表現された世界や、作者の生き方、考え方について関心をもつことができる。 ②仮名遣いに注意し、言葉の響きや調子を味わいながら音読することができる。 ②筋道や論点を整理し、根拠を明らかにしながら、話し合いを進めることができる。 ③筆者の考えをもとに、題材についての考えを深め、自分の意見を持つことができる。 ③社会生活の中から課題を決め、説得力のある構成を考えて書くことができる。 ④場面や登場人物の設定、情景描写、心情表現に着目して、内容を捉えることができる。 ④人物を取り巻く状況や時代背景を考えながら読み、社会と人間のかかわりを考えることができる。 ⑤慣用句、ことわざ、故事成語について正しく理解できる。 ⑤和歌の表現や古語を理解し、昔のものの見方に触れながら作品を味わうことができる。

3 学期	未来へ向かって 論説「誰かの代わりに」 詩「わたしを束ねないで」 漢字「漢字のまとめ」 発表「三年間の歩みを振り返ろう」 書写（毛筆） 三年間のまとめ	①筆者のものの見方や考え方に関心をもって読むことができる。 ①これまでに身につけた国語の力を生かしながら課題に取り組むことができる。 ②自分の考えを的確な表現で伝えることができる。 ②言葉の使い方や比喻，対句の表現など、詩の表現の特徴や効果を生かして朗読することができる。 ③観点を明確にして学びを整理し，考えたことや整理したことが伝わる構成を工夫することができる。 ④文中の論理の展開のしかたに着目し、筆者の主張を理解することができる。 ⑤同一漢字の音訓と意味を使い分けたり、送り仮名の原則を理解し，的確に送り仮名を付けたりすることができる。 ⑤行書の特徴を理解し，漢字と仮名の調和に気を付けて書くことができる。
---------	---	--

4 学習方法についてのアドバイス

学習 方法	学校	・授業に集中して取り組み，人の意見はしっかり聞き，自分の意見を進んで発表しましょう。 ・板書はていねいにノートにまとめ，配られたプリント類はノートに貼るなどして，きちんと保管して見直しましょう。 ・図書室を利用するとともに，朝の読書に落ち着いて取り組みましょう。
	家庭	・教科書を繰り返し，音読しましょう。 ・わからない漢字や語句は，積極的に辞典で調べましょう。 ・国語の学習を利用して予習や復習を行い，問いに対する答え方のコツを掴みましょう。 ・漢字の学習を利用し，学習した漢字の予習や復習に取り組みましょう。 ・本や新聞などを積極的に読みましょう。

学 校 名	学 年	教 科
四 日 市 市 立 西 陵 中 学 校	3 年	社 会

1 学習のねらい等

学習のねらい	<歴史的分野> ○身近な地域の歴史や具体的な事象の学習を通して歴史に対する興味や関心を高める。 ○資料を活用して多面的・多角的に考察し、公正に判断し、適切に表現する力や態度を身につける。 ○わが国の歴史の流れを大きくとらえ、各時代の特色をつかむようにする。 ○歴史上の人物、各時代の文化遺産などに関する学習を通して歴史を具体的に理解する。 ○わが国と諸外国の歴史や文化とのかかわりを考えたり、他民族の文化、生活などに関心を持った りすることなどにより、国際協調の精神を身につける。 <公民的分野> ○社会的事象を確実な資料に基づいてさまざまな角度から考察し、事実を正確にとらえ、公正に判 断する能力と態度を身につける。 ○個人の尊厳と人権の尊重の意義、自由・権利と責任・義務の関係を広い視野から正しく理解する。 ○各国民が協力し合うことで、世界の平和を維持し人類の福祉に貢献できることを認識する。 ○国民の生活の向上と経済活動とのかかわり及び個人の役割などについての理解を深める。 ○社会の諸問題に着目させ、自ら考えようとする態度を身につける。
使用教材	教科書：『新編 新しい社会 歴史』（東京書籍）『中学社会 公民的分野』（日本文教出版） 補助教材：資料集『学び考える歴史』（浜島書店） 問題集『社会の自主学習 歴史2・3』（新学社）『社会の自主学習 公民』（新学社）

2 評価の観点および方法

評 価 の 観 点		評 価 の 方 法
①社会的事象 への関心・ 意欲・態度	歴史的事象に対する関心を高め、それを意欲的に追 究し、広い視野に立ってわが国の文化と伝統につい て考え、国民としての自覚をもとうとする。 現代の社会的事象に対する関心を高め、それを意欲 的に追究し、広い視野に立ってよりよい社会を考え 国民としての自覚を持って責任を果たそうとする。	・授業中の学習活動への取り組み状況 ・課題の取り組み状況 ・ノートやワーク等の取り組み状況 ・定期テスト ・自由研究などの取り組み
②社会的な 思考・判断・ 表現	歴史的事象から課題を見だし、わが国の歴史の大 きな流れと各時代の特色などを多面的・多角的に考 察し、公正に判断する。 現代の社会的事象から課題を見だし、社会的事象 の意義や役割、相互の関連などを多面的・多角的に 考察し、様々な考え方を踏まえ公正に判断する。	・授業での発言 ・課題の取り組み状況 ・ノートやワーク等の取り組み状況 ・定期テスト
③資料活用の 技能	歴史に関する資料を収集し、有用な情報を選択して 活用するとともに、追究し考察した過程や結果を年 表まとめ、発表や討論などを行ったりする。 現代の社会的事象に関する資料を収集し、情報を選 択して活用するとともに、追究し考察した過程や結 果を図表化したり報告書などにまとめたり、発表や 討論などを行ったりする。	・授業での発言 ・課題の取り組み状況 ・ノートやワーク等の取り組み状況 ・定期テスト
④社会的事象に ついての 知識・理解	歴史の大きな流れと各時代の特色などを世界の歴 史を背景に理解し、その知識を身につけている。 現代の社会生活および政治や経済の基本的な考え 方、社会的事象の意義や役割、相互の関連などを理 解し、その知識を身につけている。	・授業での発言 ・定期テスト

3 学習計画

	各単元と主な学習内容	観点別評価の具体例
1 学期	<歴史的分野> 第5章 開国と近代日本の歩み（前年度分） ・日清・日露戦争と近代産業 第6章 二度の世界大戦と日本 ・第一次世界大戦と日本 ・世界恐慌と日本の中国侵略 ・第二次世界大戦と日本	①二度の大戦前後の出来事について、意欲的に学習しようとする。 ②二度の大戦について、日本が参加する背景について、多面的・多角的に考察する。 ③二度の大戦の様子について、資料をもとに図で表すことができる。 ④二度の大戦について、その始まりと経緯を理解する。
2 学期	<公民的分野> 第1編 私たちと現代社会 1章 私たちが生きる現代社会と文化 ・私たちが生きる現代社会の特色 ・現代社会の文化と私たち	①高度経済成長以降のわが国の社会的事象について、意欲的に学習しようとする。 ②現代日本の発展の過程をふまえ国際社会におけるわが国の役割を多面的・多角的に考察する。 ③高度経済成長以降の社会的事象に関する様々な資料を収集し、適切に選択して活用する。 ④現代日本の発展過程、国際化の進展について理解する。
2 学期	第2編 私たちの生活と政治 1章 個人の尊重と日本国憲法 ・法に基づく政治と日本国憲法 ・日本国憲法と基本的人権 ・日本の平和主義 2章 国民主権と日本の政治 ・民主政治と政治参加 ・暮らしを支える地方自治 ・国の政治のしくみ	①自分の身の回りの生活と日本国憲法との関連や民主政治について、意欲的に調べようとする。 ②日本国憲法に基づく政治により、国民の自由と権利が守られ、民主政治が行われるということについて多面的・多角的に考察する。 ③人間の尊重についての考え方と日本国憲法を初めとした法に関する資料を様々な情報手段を活用して収集する。 ④基本的人権の理念は現在の社会生活における人間の生き方の指針となると考えられることについて理解し、その知識を身につける。 ⑤現代の民主政治について、必要な知識を身につける。
2 学期	第3編 私たちの生活と経済 1章 消費生活と経済のしくみ ・暮らしと経済 ・市場のはたらき	①家計や日常生活における商品の価格、需要と供給などについて、意欲的に学習しようとする。 ②消費生活や流通に関する様々な事例、需要量・供給量と価格の関係や価格変動などについて、多面的・多角的に考察する。 ③身近な消費生活をもとに、消費者の権利と契約、流通の役割、価格変動などについて理解し、その知識を身につけている。
2 学期	2章 生産のしくみと金融 ・生産と企業 ・金融とお金の価値 ・働く人をめぐる問題	①企業の生産活動や社会的事象、金融機関や労働問題について、意欲的に学習しようとする。 ②企業の生産活動や消費者、株主、労働者などの立場などについて、多面的・多角的に考察する。 ③企業や雇用に関する課題、などについて、様々な資料をもとに、適切に活用する。 ④企業の働きや株式会社のしくみ、現代企業の特色と課題などについて理解し、その知識を身につけている。

3 学期	3 章 財政と国民の福祉 ・政府の仕事と財政 ・私たちの生活と政府の働き	①国民生活に財政が深くかかわっていることに気づき、経済活動に関心を持つとする。 ②国や地方公共団体が果たしている経済的な役割や財政について、多面的・多角的に考察し、経済活動のあり方について様々な立場から公正に判断する。 ③国や地方公共団体の経済活動に関する様々な資料を収集し、学習に役立つ情報を適切に選択して活用する。 ④国や地方公共団体の財政の働きについて理解し、その知識を身につける。
3 学期	第4編 現代の国際社会 1 章 国際社会と人類の課題 ・国家と国際社会 ・地球環境への人類の取り組み	①地球規模の諸問題について、意欲的に学習しようとする。 ②地球規模の諸問題について、多面的・多角的に考察し、これからのよりよいあり方について、様々な観点や立場から公正に判断する。 ③地球規模の諸問題について、学習に役立つ情報を適切に選択して活用する。 ④地球規模の諸問題について、解決すべき課題について理解し、その知識を身につける。
3 学期	第5編 私たちの課題 1 章 持続可能な社会をめざして	①持続可能な社会を形成するために解決すべき課題について、平和の観点、環境の観点、人権と経済の観点などのテーマに関連させ、意欲的に学習しようとする。 ②持続可能な社会を形成するために解決すべき課題について、地理的分野と歴史的分野の学習内容も踏まえて、多面的・多角的に考察する。 ③持続可能な社会を形成するために解決すべき課題について、学習に役立つ情報を適切に選択して活用する。 ④持続可能な社会を形成に向け社会参画するにあたり、平和の観点、環境の観点、人権と経済の観点などのテーマに関連した知識を身につけている。

4 学習方法についてのアドバイス

学習方法	学校	・授業中は教科書、ノート、資料集を開け、先生の話を中心して聞こう。 ・黒板に書いたことや自分で気づいたことなどをノートに工夫してまとめよう。 ・授業には積極的に参加し進んで発表しよう。 ・疑問があれば、先生に質問しよう。 ・ノート、ワークなどの提出物は期日を守ろう。
	家庭	・予習として、教科書を読んでおこう。 ・授業のあった日に、必ず復習するようにしよう。（読むだけでなく、きちんと書いて覚えよう。） ・自主的にノートをつくり、自分で工夫して整理しよう。（年表をつくるのも、理解をうながしやすい。） ・知らない地名は地図帳で調べよう。 ・授業で習ったところはワークで何度も確認しよう。 ・興味のあるできごとや地域、歴史上の人物を自主的に調べてみよう。 ・毎日、新聞、テレビなどのニュース（政治・経済・文化）に興味をもとう。

学 校 名	学 年	教 科
四 日 市 市 立 西 陵 中 学 校	3 学 年	数 学

1 学習のねらい等

学習のねらい	○数の平方根について理解し、数の概念について理解を一層深めよう。また、文字式の計算に習熟し、二次方程式を解き、活用できるようになる。 ○具体的な事象を調べることを通して関数$y = ax^2$について理解し、関数関係を見出し表現・考察する能力を伸ばそう。 ○図形の相似や三平方の定理について、操作や実験を通して理解し、図形の性質の考察や計量に用いる能力を伸ばそう。また、見通しを持って論理的に考察し表現する能力をさらに伸ばそう。
使用教材	教科書：「未来へひろがる数学3」（啓林館） 問題集：「完成問題集3年」（三泗中学校数学研究会） 「数学の問題ノート」（新学社） 「基礎からのパワーアップシート」（新学社） 「図形テキスト3年」（三泗中学校数学研究会）

2 評価の観点および方法

評 価 の 観 点		評 価 の 方 法
①数学への 関心・意欲・ 態度	数学的な事象に関心をもつとともに、数学的活動の楽しさ、数学的な見方や考え方のよさを知り、それらを事象の考察に進んで活用しようとする。	・授業中の学習活動への取り組み状況 ・問題集や学校の配布プリントへの取り組み状況 ・学校配布教材などの取り組み状況
②数学的な 見方や 考え方	数学的活動を通して、数学的な見方や考え方を身に付け、事象を数学的にとらえ、論理的に考えるとともに思考の過程を振り返り考えを深める。	・プリントやノート等への記述内容 ・定期テストや小テスト ・問題集での誤答分析 ・操作活動等の中での考察内容
③数学的な 技能	事象を数量、図形などで数学的に表現し処理する仕方や推論の方法を身に付けている。	・定期テストや小テスト
④数量や図形な どについての 知識・理解	量、図形などに関する基礎的な概念や原理・法則などについて理解し、知識を身に付けている。	・定期テストや小テスト

3 学習計画

	各単元と主な学習内容	観点別評価の具体例
1 学 期	1 章 式の展開と因数分解 § 1 式の展開と因数分解 § 2 式の計算の利用	① 式の展開や因数分解を利用して、問題を解決しようとする。 ② $(a+b)(c+d)$ の展開や面積図から $(x+a)(x+b)$ の展開、平方の公式、和と差の積の公式を考えることができる。 ③ 乗法の公式を使って、式を展開することができる。 ④ 乗法の公式を理解している。
	2 章 平方根 § 1 平方根 § 2 根号をふくむ式の計算	① 平方根の値を求めることに興味を持って取り組もうとする。 ② 正方形の面積と1辺の長さの関係から、新しい数を見つけることができる。 ③ 根号をふくむ式の加減乗除の計算ができる。 ④ 平方根の意味を理解している。

2 学 期	3章 二次方程式 § 1 二次方程式 § 2 二次方程式の利用	① 二次方程式を利用して問題を解決しようとする。 ② 二次方程式を利用して問題を解決し、その過程を振り返って考えることができる。 ③ 因数分解を利用して、二次方程式が解ける。 ④ 二次方程式とその解、二次方程式を解くことの意味を理解している。
	4章 関数 $y = ax^2$ § 1 関数とグラフ § 2 関数 $y = ax^2$ の値の変化 § 3 いろいろな事象と関数	① 一次関数で表せない関係があることに興味を持つ。 ② 関数 $y = ax^2$ の値の変化や対応を表によって調べ、その特徴を考えることができる。 ③ 関数 $y = ax^2$ のグラフをかくことができる。 ④ 放物線、放物線の軸、放物線の頂点の意味や、関数 $y = ax^2$ のグラフの特徴を理解している。
	5章 図形と相似 § 1 図形と相似 § 2 平行線と線分の比 § 3 相似な図形の計量 § 4 相似の利用	① 2つの三角形がどんな場合に相似になるかを考えようとする。 ② 相似条件を用いて、2つの三角形が相似かどうかを考察することができる。 ③ 2つの図形が相似であることを、記号を使って表したり、相似比や対応する辺の長さを求めたりできる。 ④ 三角形の相似条件を理解している。
	6章 円の性質 § 1 円周角と中心角 § 2 円の性質の利用	① 円周角と中心角の関係や、同じ弧に対する円周角の関係について考えようとする。 ② 円周角の関係についての証明を読み、どのような図形の性質が用いられているかを考えることができる。 ③ 円の性質を活用して問題を解くことができる。 ④ 円周角の意味、円周角の定理、円周角の定理の逆について理解している。
3 学 期	7章 三平方の定理 § 1 三平方の定理 § 2 三平方の定理の利用	① 三平方の定理を見だし、どんな直角三角形についても成り立つかどうか、調べようとする。 ② 面積の間に成り立つ関係を一般的に示し、辺の長さの関係としてとらえなおすことができる。 ③ 三平方の定理を使って辺の長さを求めたり、三平方の定理の逆を使って直角三角形を指摘したりすることができる。 ④ 三平方の定理やその逆の意味を理解している。
	8章 標本調査 § 1 標本調査	① 標本調査の必要性和その意味を理解している。 ② 身近な標本調査について考えることができる。 ③ 標本調査を行い、代表値を求めることができる。 ④ 母集団から標本を取り出し、標本の傾向を調べることで、その傾向が読み取れることを理解している。

4 学習方法についてのアドバイス

学 習 方 法	学 校	★先生の話したことで大事だと思ったことは、必ずノートにメモしておこう。 ★課題等には積極的にチャレンジし、1つでも多くの事象について考えていこう。 ★用語は1つ1つ意味を確実に覚えて、活用していこう。 ★「何故だろう」という気持ちを大切にしながら、取り組んでいこう。わからないことはどんどん質問して、授業の中で理解できるようにしよう。
	家 庭	★宿題は必ずやるのはもちろん、その日の授業内容を問題集等で振り返っていこう。数学は何より復習が大事。毎日コツコツと努力して、しっかりとした力をつけていこう。 ★問題集等での答え合わせで、間違いに対する原因をしっかりと確かめ、次回には正答になるように、しっかりと見直しをしていこう。

学 校 名	学 年	教 科
四 日 市 市 立 西 陵 中 学 校	第 3 学 年	理 科

1 学習のねらい等

学習のねらい	○自然の事物や現象に興味・関心をもって進んでかかわり，疑問をもって意欲的に探求しましょう。 ○目的意識をもって観察や実験などを行い，観察・実験の技能を身につけ，観察，実験の結果を分析して解釈し表現する能力を身につけましょう。 ○自然の事物や現象について理解を深めて，科学的に説明できるようにしましょう。 ○自然の事物や現象に対する科学的な見方や考え方を身につけましょう。
使用教材	教科書：『未来へひろがるサイエンス3』，『未来へひろがるサイエンス3マイノート』（啓林館） 補助教材：ノート「中学理科ノート3年」（正進社） ワーク『よくわかる理科の学習3年』（明治図書）

2 評価の観点および方法

評 価 の 観 点		評 価 の 方 法
①自然事象への関心・意欲・態度	自然の事物・現象に進んでかかわり，それらを科学的に探究するとともに，事象を人間生活とのかかわりでみようとする。	・授業中の学習活動への取り組み状況 ・課題（授業プリントや夏休みの課題など）の取り組み状況 ・ノートやワーク等の取り組み状況 ・定期テストや小テスト
②科学的な思考・表現	自然の事物・現象の中に問題を見いだし，目的意識をもって観察，実験などを行い，事象や結果を分析して解釈し，表現している。	・課題（授業プリントや夏休みの課題など）の考察などの記述 ・定期テストや小テスト
③観察・実験の技能	観察，実験を行い，基本操作を習得するとともに，それらの過程や結果を的確に記録，整理し，自然の事物・現象を科学的に探究する技能の基礎を身に付けている。	・授業中の実験・観察の操作 ・課題（授業プリントや夏休みの課題など）の記録 ・パフォーマンス（実技）テスト ・定期テストや小テスト
④自然事象についての知識・理解	自然の事物・現象について，基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。	・課題（授業プリントや夏休みの課題など）の記述 ・定期テストや小テスト

3 学習計画

	各単元と主な学習内容	観点別評価の具体例
1 学期	[地球] 地球の大気と天気の変化 3 章 大気の動きと日本の四季（前年度分） [生命] 生命の連続性 1 章 生物の成長と増え方 2 章 遺伝の規則性と遺伝	④高気圧，低気圧，前線などについて理解し，それに伴う天気や気象要素の変化を説明することができる。 ①細胞レベルでの生物の成長や生殖や遺伝のしくみに興味をもち，進んで学習している。 ②メンデルの実験結果から，遺伝子をもとに遺伝の法則を考察することができる。 ③顕微鏡を用いて，いろいろな分裂時期の細胞を見つけ，正確にスケッチすることができる。 ④細胞分裂時の染色体のようすについて理解し，生物の成長や生殖，遺伝について細胞や染色体遺伝子と関連付けて説明できる。
	[物質] 化学変化とイオン 1 章 水溶液とイオン 2 章 酸・アルカリと塩	①物質や化学反応，それらと日常生活の関連に興味をもち，意欲的に学習している。 ②電解質や酸，アルカリの性質，中和のようすをイオンと関連づけて考えることができる。 ③電解質や酸性・アルカリ性について調べる実験を，正しく安全に行うことができる。 ④水溶液の電気伝導性や中和反応について理解し，これらの事物・現象をイオンのモデルと関連付けて説明することができる。

2 学 期	[エネルギー] 運動とエネルギー 1章 力のつり合い 2章 物体の運動 3章 仕事とエネルギー 4章 多様なエネルギーとその移り変わり 5章 エネルギー資源とその利用	①物体の運動やエネルギー，それらと日常生活や社会との関連について興味をもち，進んで学習している。 ②記録テープなどの物体の運動の記録から，物体の運動の様子を正しく考察できる。 ③記録タイマーなどの器具を使い，物体の運動を記録したり，データをグラフ化したりできる。 ④物体の運動の規則性やエネルギーの基礎について理解し，物体の運動や仕事について，力やエネルギーの量と関連づけて説明できる。
	[地球] 宇宙の中の地球 1章 地球とその外側の世界 2章 太陽と恒星の動き 3章 月と金星の動きと見え方	①天体やその運動，それらと人の生活とのかかわりや宇宙開発・研究に興味をもち，進んで学習している。 ②天体の日周運動や年周運動を地球の自転や公転に結び付けて考えることができる。 ③透明半球を用いて太陽の位置を記録し，太陽の日周運動について調べることができる。 ④天体のみかけの運動や季節による変化を理解し，地球の自転や公転と結び付けて説明できる。
3 学 期	[環境] 自然と人間 1章 自然界のつり合い 2章 人間と環境 3章 自然が人間の生活におよぼす影響 4章 科学技術と人間 5章 科学技術の利用と環境保全	①生物相互の関係や自然界のつり合い，自然環境の保全と科学技術の利用のあり方について関心をもち，進んで学習している。 ②自然災害への防災対策や自然環境の保全などについて，科学的な根拠に基づいて考察し，言語で表現できる。 ③身のまわりの環境問題について調べ，結果や考察をわかりやすくまとめることができる。 ④生物相互の関係や自然界のつり合いについて理解し，自然環境の保全と科学技術の利用のあり方について科学的に考察，判断できる。

4 学習方法についてのアドバイス

学 習 方 法	1 授業の学習内容で興味や関心のあることは，教科書や資料集などで調べてみましょう。 → 疑問や知りたいと思ったことは授業でどんどん質問しましょう。 2 授業は真剣に，集中して，積極的に取り組みましょう。 特に，観察や実験は学校でしかできなかったり，やり直す時間がなかったりするので，大切にしましょう。 3 復習はその日のうちに簡単でいいので行い，授業の内容を思い出しながら，教科書や授業プリントなどをもう一度見直しましょう。 (記憶が鮮明なその日のうちに復習すれば，短時間でできます。) 4 ワークで問題を解いてみましょう。わからないときは解説を読んで，再び挑戦です。 (「わかる」から，知識を使って「できる」まで高めましょう。また，答えが合っているだけでなく，「考え方」まで正しく自分で説明できるようにしましょう。) 5 直接目で見ることでできない部分の学習が増えてきます。自分でまとめ用ノートを作り，図や表を使って理解を深めることも大切です。 ◎理科の学習(科学)は，身の回りのいろいろなものや現象に深く関わっています。学習したことを身の回りのものや現象に関連させて考える習慣をつけましょう。また，世の中の様々な場面で科学の成果が生かされています。生活するにも，仕事をするにも，科学と無関係ではありません。仕組みを理解して，普段の生活で科学を上手に使っていくことが大切です。
------------------	---

学 校 名	学 年	教 科
四 日 市 市 立 西 陵 中 学 校	3 学 年	音 楽

1 学習のねらい等

学習のねらい	○音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を高め、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、生涯にわたって音楽に親しんでいく態度を育てる。 ○多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばし、創意工夫して表現する能力を高める。 ○多様な音楽に対する理解を深め、幅広く主体的に鑑賞する能力を高める。
使用教材	教科書：『中学生の音楽2・3 上 下』『中学生の器楽』（教育芸術社） 補助教材：合唱曲集『コーラス フェスティバル』（正進社） 鑑賞用プリント

2 評価の観点および方法

評 価 の 観 点		評 価 の 方 法
①音楽への関心・意欲・態度	音楽に親しみ進んで音楽を表現し、鑑賞の学習に取り組もうとしている。	・プリントや課題等の提出状況や内容 ・活動中の様子 ・実技テスト（歌唱、器楽） ・定期テスト
②音楽表現の創意工夫	感性や想像力を働かせて、音楽をより美しいものにしようと曲想やイメージをふくらませることができる。 歌詞の内容や曲想を味わい、曲にふさわしい表現を工夫して歌うことができる。 声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して、表現を工夫しながら合わせて歌うことができる。	・定期テスト ・実技テスト（歌唱、器楽） ・プリントや課題等の内容 ・活動中の様子
③音楽表現の技能	歌唱の音程が正確である。 アクセントやリズム、強弱やテンポを適切に演奏に活かすことができる。 楽曲に表記されている用語や記号などについて理解できている。	・実技テスト（歌唱、器楽） ・活動中の様子 ・定期テスト
④鑑賞の能力	作品の構造と曲想とのかかわりを理解して聴き、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる。 我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴から音楽の多様性を理解して鑑賞することができる。 範唱や演奏、仲間の演奏や発表を熱心に聴いている。	・定期テスト ・プリントや課題等の内容 ・活動中の様子

3 学習計画

	各単元と主な学習内容	観点別評価の具体例
1 学 期	○日本の歌を歌いよう 「花」（合唱） ○オーケストラの響きを味わいながら、作曲者の思いを感じ取ろう 「ブルタバ(モルダウ)」(鑑賞) 連作交響詩「我が祖国」から ○ギターを演奏しよう（器楽）	(全学期共通) ① ・毎回の授業に意欲的に取り組む。 ・よい姿勢で歌や演奏に取り組む。 ・授業中に意欲的に発言する。 ・意欲的にパート練習に取り組む。 ② ・歌詞の内容やリズム、曲の構成などの要素を聴き取り、それらの働きが生み出す曲の雰囲気を感じ取りながら、どのように表現するか工夫している。 ・歌唱の発声がやわらかく響きがある。

2 学 期	○指揮をしてみよう（実技） ○合唱コンクールの取り組み 全校合唱「大切なもの」 学年合唱「（未定）」 自由曲「（未定）」 ○日本の伝統音楽に親しもう（鑑賞） —雅楽と能の音楽— 平調「越天楽」	・歌唱活動において，表現豊かに演奏できる。 ・言葉のつながりやフレーズを感じて演奏できる。 ・姿勢・口の形などに気を付けて歌う。 ③ ・アクセントやリズム，強弱やテンポなど楽譜の表記通りに演奏できる。 ・正しい音程で歌う，言葉の区切りや意味を考えて歌うなどの基礎的な技能を身に付けて歌う。 ・曲種に応じた発声により，言葉を大切にしながら表現する。 ・歌詞の明瞭な発音ができる。 ・楽曲に出てくる用語や記号などについて理解できる。 ④ ・鑑賞中の態度が適切で集中できている。 ・地域や楽器の特徴，音楽の多様性に関心を持ち鑑賞する学習に意欲的に取り組む。 ・鑑賞曲を聴き，作曲者の意図，心情を感じ取ったり，情景をイメージしたりしながら聴く。 ・自分のパートではない部分に耳を傾け，自分のパートのバランスを考え演奏に活かすように聴くことができる。 ・テストにおいて，作曲者についての詳細や楽曲の歴史的背景をしっかりと理解できる。
	○想いを歌に託そう （卒業式歌） 「そのままの君で」 「（別れの歌）」	

4 学習方法についてのアドバイス

学 習 方 法	学 校	○ チャイムが鳴る前に教室を移動し，所定の座席に座りましょう。 ○ みんなで協力してパート練習や活動を行いましょう。 ○ 鑑賞態度に気を付け，マナーを守って落ち着いて取り組みましょう。
	家 庭	○ いろいろな音楽に興味を持とう。 ジャンルにとらわれずいろいろな音楽を聴いたり見たりしましょう。 ○ 合唱をつくりあげる過程では，授業以外でも歌って練習しましょう。

学 校 名	学 年	教 科
四 日 市 市 立 西 陵 中 学 校	3 学 年	美 術

1 学習のねらい等

学習のねらい	○ 主体的に美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を高める。 ○ 対象を深く見つめ感じ取る力や想像力を一層高め、独創的・構想的な見方や考え方培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する能力をのばす。 ○ 造形、美術作品や文化遺産などについての理解や見方を深め、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心をもち、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を高める。
使用教材	教科書「美術２・３上学びの深まり・美術２・３下美の探求」（日本文教出版） 資料集『美術資料』（秀学社）

2 評価の観点および方法

評 価 の 観 点		評 価 の 方 法
①美術への 関心・意欲・ 態度	主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組み、その喜びを味わい、美術に関心を持っている。	・授業への取り組み ・提出物 ・授業の準備物 ・定期テスト ・ワークシート、振り返りシート
②発想や構想 の能力	感性や想像力を働かせて感じ取ったことや考えたことなどを基に、豊かに発想し、よさや美しさなどを考え、心豊かで創造的な表現の構想をする。	・ワークシート、アイデアスケッチ ・作品 ・定期テスト
③創造的な技 能	表現の技能を身に付け、造形感覚や感性などを働かせ、自分の表現方法を創意工夫し創造的に表す。	・制作過程 ・ワークシート ・完成作品 ・定期テスト
④鑑賞の能力	美術作品や文化遺産などに親しみ、感性や想像力を働かせてよさや美しさを感じ取り味わったり、理解を深めたりする。	・相互鑑賞 ・自己評価シート ・ワークシート ・定期テスト

3 学習計画

	各単元と主な学習内容	観点別評価の具体例
3 年 生 1 学 期	【オリエンテーション】 ・ 授業の進め方について	① 美術の表現の広さや面白さを知り、自分の制作意図や意欲につないでいる。
	【工芸】 ・ 寄せ木細工（前年度分）	① 工芸品の用途や形の美しさに気づき、手づくりの良さを感じ取ろうとしている。 ② 木という素材の特徴を理解し、制作に生かすことができる。 ③ 制作の見通しを持ち、計画的に取り組むことができる。 ④ やすりがけ、ワックスがけの方法を身につけ、木のよさを生かして仕上げるができる。 ⑤ 友だちと自分のそれぞれの作品のよいところを発見し認め合うことができる。
	【作品鑑賞会】	

3 年 生 2 学 期	【立体感のある構成】 【鑑賞】 ・ 芸術家の作品鑑賞 【篆刻】	① 遠近法や透視図法を理解することができる。 ① 自分の感性や想像力を働かせて、作品のよさや美しさ、作者の意図を感じ取ることができる。 ① 篆書体の性質や文字のバランスなどを考え、限られたスペースの中に配置や形を工夫したデザインができる。 ② 印刀を安全に使い、仕上がりをイメージして彫れる。 ③ 印材の持つところの機能を考えたデザインができる。 ④ 立体をイメージし、根気よく最後までていねいに制作することができる。
3 年 生 3 学 期	【作品鑑賞会】	⑤ 友だちと自分のそれぞれの作品のよいところを見つけることができる。

4 学習方法についてのアドバイス

学習方法	学校	・ 授業中は教科書・資料集・ファイル(3点セット)やそのときに指示された準備物(絵具セットや鉛筆セットなど)を準備して、聴く姿勢を維持しよう。 ・ 絵画・立体・デザインの創作では、アイデアスケッチや資料を基に、習得した技術を活かしながら自分の想いや考えを表現しよう。 ・ 自分の想いと表現を追求する為に、集中して取り組もう。 ・ 個人で表現を深める時間と、仲間との意見交流により表現の幅を広げる時間との切り替えを明確にして取り組もう。 ・ 自分の意図通りに制作が進まない時は、意欲的に質問を重ね、意見交流と鑑賞も積極的に生かそう。 ・ 作品、プリント類の提出期日厳守。
	家庭	・ 日常生活の中で、身近な事柄と美術のつながりを考えよう。 ・ テストは実技もありますので、範囲内の課題の練習を当日までに行い、資料と授業で習得したことを生かせるようにしよう。 ・ 休日などに近隣の美術館に足を運び、鑑賞を通した感動を深めよう。

学 校 名	学 年	教 科
四 日 市 市 立 西 陵 中 学 校	3 学 年	保健体育（保健分野）

1 学習のねらい等

学習のねらい	個人生活における健康・安全に関する理解を通して、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していけるようにする。
使用教材	教科書：保健体育（大修館）

2 評価の観点および方法

評 価 の 観 点		評 価 の 方 法
①健康・安全 への関心・ 意欲・態度	自他の心身の健康や安全に関心を持ち、自ら健康で安全な生活を実践するため、進んで学習に取り組もうとする。	・授業中の学習活動への取り組み状況 ・ワークシートの記入、提出状況 ・定期テスト
②健康・安全 についての 思考・判断	自他の心身の健康や安全に関する課題の解決を目指して、科学的に考え、選択すべき行動を適切に判断している。	・授業中の学習活動への取り組み状況 ・ワークシートへの記述 ・定期テスト
③健康・安全 についての 知識・理解	健康・安全の意義を理解するとともに、心身の機能の発達や心の健康、健康と環境、傷害の防止、健康な生活と疾病の予防について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、その知識を身につけることができる。	・授業中の学習活動への取り組み状況 ・ワークシートへの記述 ・定期テスト

3 学習計画

	各単元と主な学習内容	観点別評価の具体例
1 学 期 ～ 3 学 期	4. 健康な生活と病気の予防 (1) 健康の成り立ち (2) 運動と健康 (3) 食生活と健康 (4) 健康と休養 (5) 生活習慣病とその予防 (6) 喫煙と健康 (7) 飲酒と健康 (8) 薬物乱用と健康 (9) 喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけ たばこ・酒・薬物に手を出さない ために (10) 感染症とその予防 (11) 性感染症の予防／エイズ (12) とともに健康に生きる社会	① 健康の保持増進のために必要な生活行動や疾病の予防に興味・関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 ② 健康な生活の仕方や疾病の予防について、自分の知識や日常の生活をふり返り、課題を見つけ解決しようとしたり、学習したことを日常の生活と関連付けて考えることができる。 ③ 健康の保持増進のためには生活習慣が深くかかわっていることや、それが主な要因となって起こる疾病やその予防の仕方について理解することができる。喫煙、飲酒、薬物乱用の健康への影響と乱用してはいけないことを理解し、知識を身に付けることができる。また、感染症の要因とその予防の方法について、理解することができる。

4 学習方法についてのアドバイス

学習方法	・健康の保持増進に興味・関心を持って生活をし、学習内容を日常生活に活かすことができるようにしましょう。 ・疾病予防のために心身の健康管理を心がけましょう。
------	--

学 校 名	学 年	教 科
四 日 市 市 立 西 陵 中 学 校	3 学 年	保健体育（体育分野）

1 学習のねらい等

学習のねらい	○ さまざまな運動の実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わうとともに知識や運動技能を高め、生涯にわたって運動に親しむことができる。 ○ さまざまな運動を適切に行うことによって、自分の体の変化に気付き体の調子を整えるとともに、体力の向上を図る。 ○ 運動における競争や協同の経験を通して、公正な態度や、進んで規則を守り互いに協力して責任を果たせるようになる。また、健康・安全に留意して生涯にわたって運動をすることができるようになる。
使用教材	教科書：保健体育（大修館） 補助教材：ステップアップ中学体育（大修館）

2 評価の観点および方法

評 価 の 観 点		評 価 の 方 法
①運動や健康・安全への関心・意欲・態度	運動の特性や学び方に関心を持ち、自ら進んで運動の楽しさや喜びを味わおうとする。 公正、協力、責任などの態度を身につけるとともに、健康・安全に留意して運動をしようとする。	・授業中の学習活動への取り組み状況（態度、発言、行動、発表） ・学習カードの記述、提出状況
②運動や健康・安全についての思考・判断	運動の特性に応じて、自己やチームの課題を見つけ、解決を目指して練習や活動の仕方を考え、工夫している。	・授業中の学習活動への取り組み状況（行動、声かけ、練習内容など） ・定期テスト
③運動の技能	自己の能力に適した課題の解決を目指して運動を行うとともに、運動の特性に応じた技能を身につける。	・技能テスト
④運動や健康・安全についての知識・理解	運動の特性と学び方、ルールや審判、安全の確保の仕方を理解し、知識を身につけている。	・ワークシートへの記述 ・定期テスト

3 学習計画

	各単元と主な学習内容	観点別評価の具体例
1 学期	A 体づくり運動 ○体ほぐしの運動 ○体力を高める運動 準備運動・集団行動・体力測定	①体づくり運動に興味・関心を持ち、意欲的に学ぼうとしている。 ②自己の体力や能力を知り、課題解決のための方法を考えて実践することができる。 ③準備運動や集団行動を正しく行うことができる。 ④運動の特性や学び方、準備運動の必要性や体力測定の方法を理解することができる。
	H 体育理論 ○文化としてのスポーツの意義	
	E 球技（ネット型） ○バレーボール	①ネット型スポーツに興味・関心を持ち、楽しさや喜びを味わおうとしている。 ②自己の能力に応じて課題を持ち、練習を工夫することができる。 ③基本的なパスやサーブができる。 ④技能のポイントやルールを理解することができる

2 学 期	C 陸上競技 ○短距離走・リレー ○走り高跳び ○長距離走	①陸上競技に興味・関心を持ち、全力を出して競争し、記録を向上させようとしている。 ②自己の能力に適した目標記録や課題を設定し、練習の仕方を選ぶことができる。 ③スタート方法や走法、跳躍フォームなど基本的な技能を身に付けることができる。 ④陸上競技の特性や学習の進め方、ルールや競技方法を理解することができる。
	E 球技（ベースボール型） ○ソフトボール	①ベースボール型スポーツに興味・関心を持ち、攻防の楽しさや喜びを味わおうとしている。 ②自己やチームの能力に応じて課題を持ち、練習の工夫や作戦を立てることができる。 ③今持っているピッチングやバッティングの技能を生かして、ゲームができる。 ④ルールや競技方法を理解することができる。
	E 球技（ゴール型） ○サッカー ○バスケットボール ○ハンドボール	①個人の技能を高め、相手に応じた練習を工夫して、ゲームができる。 ②チームの中での動きを理解し、ゲームに対応できる練習することができる。 ③ルールを守り、お互いの安全に留意して活動し、技能向上のために協力し合って練習することができる。 ④ルールや競技方法を理解することができる。
3 学 期	B 器械運動 ○マット運動	①器械運動に興味・関心を持ち、日常では味わえない回転や逆さになる感覚や技ができるようになることに楽しみや喜びを味わおうとしている。 ②自己の能力に適した技を選び、課題を持って練習したり、技の完成度を確かめたりすることができる。 ③基本的な技は何度もくり返し、条件を変えてもできる。 ④練習の仕方や場所を工夫する練習方法を理解することができる。
	G ダンス ○現代的リズムダンス ○創作ダンス ○フォークダンス	①ダンスに興味・関心を持ち、思いきり動く、感じを込めて動くなどのダンスの楽しさや喜びを味わおうとしている。 ②自己やグループのテーマに適した課題を持ち、踊って確かめたり、見せ合ったりして動き方を選んだり見つけたりすることができる。 ③イメージにふさわしい動きや体で感じたリズムを率直に表現したりできる。 ④ダンスは個人や集団で表現したり交流したりすることが楽しい運動であることや、学習の進め方、よい動き、鑑賞の仕方を理解することができる。

4 学習方法についてのアドバイス

学 習 方 法	学 校	・十分に準備運動を行ない、怪我や事故のないように注意しましょう。 ・各授業において柔軟性を高め、体力を増強し能力を高めていくように、補強運動に積極的に取り組みましょう。
	家 庭	・定期テスト発表時に発表された内容を中心に学習しましょう。 ・新しい単元に入ったら、図解中学体育で運動の内容やルールについて調べましょう。

学 校 名	学 年	教 科
四 日 市 市 立 西 陵 中 学 校	3 学 年	技術・家庭（技術分野）

1 学習のねらい等

学習のねらい	○身の回りにあるエネルギーについて知る。 ○生活におけるエネルギーの利用を考えることができる。 ○エネルギーを変換する方法を知る。 ○電気について、生活に必要な基礎・基本を知ることができ、実践できるようになる。 ○身の回りで使われている機器を安全に、長く使用できるようになる。
使用教材	中学校「技術・家庭 技術分野」（東京書籍）ワークシート 電気製品製作教材（生徒の実態に合わせて選択） 生物育成教材

2 評価の観点および方法

評 価 の 観 点		評 価 の 方 法
①生活や技術への関心・意欲・態度	製作について関心を持ち、真面目な態度で授業や実習に取り組んでいるか。	学習活動の観察（発言・製作のようす） ワークシート・ファイル等の点検 定期テスト、準備・清掃の様子
②生活を工夫し創造する能力	製作について、課題を見つけ、その解決をめざしていろいろな方法を自分なりに工夫しているか。	学習活動の観察（発言・製作のようす） ワークシート・ファイル等の点検 定期テスト
③生活の技能	製作に必要な基礎的な技術を身につけているか。	製作の観察、準備・清掃の様子 ワークシート・ファイル等の点検 定期テスト
④生活や技術についての知識・理解	電気の原理がわかる。 様々な電気器具の原理がわかる。	学習活動の観察（発言・製作のようす） ワークシート・ファイル等の点検 定期テスト

3 学習計画

	各単元と主な学習内容	観点別評価の具体例
3年1学期	【エネルギー変換に関する技術】 エネルギーの変換・利用と保守点検	①日常生活で使う機器が、どのようにエネルギー変換されて利用しているかを理解できる。 ②火災や故障の原因となる電気機器の誤った利用を知り、安全な使い方ができる。 ③機器の点検すべき箇所をみつけ、保守点検と事故の防止ができる。 ④発電の種類とエネルギー変換のしくみを理解できる。身近な電源の種類とその特徴、電気エネルギーを熱、光、動力などに変換するためのしくみを理解できる。

3 学 年 2 学 期	【生物育成に関する技術】 生物を育てる技術の特徴 生物を育てるための計画と管理 生物を育てる技術の評価・活用 製作品の設計・製作	①作物の生育環境や環境条件に関心を持つことができる。 ②作物と人間との間の物質循環に配慮しながら、学習したことを生活に生かすことができる。 ③成長の変化をとらえ、育成する生物に応じて適切に対応を工夫することができる。 ④育成する生物の管理作業や必要な資材・用具等についての知識を身につけている。 ①省エネルギーや使用者の安全などに配慮して設計・製作しようとしている。 ②製作品の使用目的や使用条件を明確にし、多様な側面から設計要素を比較・検討することができる。 ③工具を安全に使用し、制作することができる。 ④製作で使用する工具の名称や使い方を知る。
3 学 年 3 学 期	エネルギー変換技術の評価・活用	①エネルギー変換に関する技術の課題を進んで見つけ、多様な側面から比較・検討しようとするとともに、適切な解決策を示そうとしている。 ②エネルギー変換に関する技術の課題を明確にし、多様な側面から比較・検討し、適切な解決策を見いだしている。 ③エネルギー変換に関する技術が社会や環境に果たしている役割と影響について理解している。

4 学習方法についてのアドバイス

学 習 方 法	学 校	・チャイムが鳴るまでに授業の準備をして、着席しましょう。 ・先生や友達の話を中心して聞きましょう。 ・黒板に書いたことや授業中に気づいたことをプリントにまとめましょう。 ・製作の際には、安全に注意し、周りの友達と協力して行いましょう。 ・製作で行った手順や工夫点などをしっかり覚えて、復讐をしておきましょう。 ・ファイルなどの提出物は期日を守りましょう。
	家 庭	・授業で習ったことは早めに復習しましょう。 ・学習したことの中で、生活に生かせる場面があれば、実践してみよう。 ・身の回りのものに目を向け、様々な技術や工夫を探しましょう。 ・もし家庭にコンピュータがあれば、実際に触って学習した内容を実践してみましょう。 ・テストで間違えた問題は復習しておきましょう。 ・テスト前は早めに提出物を終わらせて、余裕を持てるようにしておきましょう。

学 校 名	学 年	教 科
四 日 市 市 立 西 陵 中 学 校	3 学 年	技術・家庭（家庭分野）

1. 学習のねらい等

学習のねらい	○幼児との触れ合い活動に関心を持って取り組み, 実践的な学習活動を通して幼児の心身の発達に応じた遊びやかかわり方を知る。 ○自分の家庭生活に関心を持ち自分と家族の生活をよりよくする方法を考える。 ○自分や家族の消費生活を振り返り課題を見つけ, 消費行動の工夫ができる。
使用教材	教科書：『新しい技術・家庭（家庭分野）』（東京書籍） 補助教材：ビデオ, オリジナルワークシート

2. 評価の観点および方法

評 価 の 観 点		評 価 の 方 法
①生活や技術への関心・意欲・態度	・自分の成長と家族や家庭生活とのかかわりについて, 関心を持もって学習活動に取り組んでいる。 ・幼児の生活と幼児との触れ合いについて, 主体的に学習活動に取り組み, 幼児に関心を持つ。	・授業中, 作業中の課題への取り組み状況や発表の様子 ・プリント・作品の提出状況 ・準備物のチェック ・自己評価表及び相互評価表
②生活を工夫し創造する能力	・幼児の心身の発達に応じたかかわり方について課題を見つけ, その解決を目指して自分なりに工夫し創造する。 ・状況に応じた姿勢や表現を工夫し幼児への言葉掛けを考える。 ・幼児にふさわしい遊びや遊び道具・遊び方について考え, 工夫している。	・ワークシートに見られる創意工夫 ・提出物に見られる顕著な様子 ・体験学習の考察 ・自己評価表, 自己チェック表 ・まとめ発表
③生活の技能	・幼児の発達に応じて, 幼児が興味を示すデザインを考えて, 名札を作成する。 ・幼児の発達の様子や個人差をふまえ, 遊びや会話・安全対策を積極的に考える。	・作品の完成度 ・取り組みの活動状況 ・自己評価表, 自己チェック表 ・プリント, ワークシートの出来
④生活や技術についての知識・理解	・家庭や家族の基本的な機能について理解している。 ・幼児の心身の発達の特徴や遊びの意義, 発達を支える家族の役割について理解している。	・定期テスト ・プリント, ワークシートの内容

3. 学習計画

	各単元と主な学習内容	観点別評価の具体例
1・2 学期	＜家族・家庭と子供の成長＞ ○幼いころを振り返ろう	①多くの人とのかかわりの中で，成長してきたことを再確認している。 ②自分の幼いころを，さまざまな視点から振り返り，考えたり，気づいたりして，まとめることができる。
	＜家族・家庭と子供の成長＞ ○幼児の心身の発達と生活，遊びを知ろう ○幼児と触れ合おう(予定)	①幼児の心身の発達と生活の特徴について理解している。 ②幼児にとっての遊びの意義や遊び道具の役割を理解している。 ③幼児とのふれあいについて，遊びや会話・安全対策など，積極的に考えることができる。 ④幼児に適した遊び方や声掛けのし方について，自分なりに工夫する。
	＜家族・家庭と子供の成長＞ ○家庭や家族の機能を考えよう	①家庭や家族の基本的な機能について理解している。 ②家族関係をよりよくする方法を考え工夫している。
3 学期	＜身近な消費生活と環境＞ ○消費者としての自覚を持つ ○消費トラブルを解決する方法を知ろう	①自分や家族の消費生活を振り返り，消費者としての自覚を持つとしている。 ②契約の意味について理解している。 ③商品の上手な購入のしかたに関心を持っている。 ④身近な消費トラブルの事例とその解決方法を理解している。

4. 学習方法についてのアドバイス

学習方法	学校	・テスト前の復習のために，よくわかるように工夫してまとめましょう。 ・授業での忘れ物は，自分が困るだけでなく，周りの子にも迷惑をかけることになります。忘れ物のないように気をつけましょう。 ・プリントは第2の教科書になります。授業中の要点や板書をメモし，すべてファイルにまとめてしっかり保管しましょう。
	家庭	・定期テスト前にはワークシートを見直そう。 ・学習したことを，生活において実践へとつなげよう。

学 校 名	学 年	教 科
四 日 市 市 立 西 陵 中 学 校	3 学 年	英 語

1 学習のねらい等

学習のねらい	○外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深めましょう。 ○外国語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけましょう。 ○聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養いましょう。
使用教材	教科書：NEW CROWN（三省堂） 補助教材：問題集「新英語のワーク」（明治図書） 英語マスターノート前／後（新学社） 3分リスニング上級（正進社）

2 評価の観点および方法

評 価 の 観 点		評 価 の 方 法
①コミュニケーションへの関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	・授業中の取り組み ・プリント・ノート等への書き込み ・ペアやグループでの取り組み
②外国語表現の能力	英語を用いて、自分の考えなどを話すことができる。 英語で書くことに慣れ親しみ、英語を用いて自分の考えなどを書くことができる。	・授業中の取り組み ・Q&A ・プリント・ノート等への書き込み ・英作文 スピーチ等パフォーマンステスト ・定期テスト
③外国語理解の能力	初歩的な英語を聞いたり、読んだりして、話し手や書き手の意向や具体的な内容など、相手が伝えようとすることを理解する。	・授業中の取り組み ・プリント・ノート等への書き込み ・定期テスト
④言語や文化についての知識・理解	初歩的な外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともにその背景にある文化などを理解する。	・プリントへの書き込み ・定期テストや単語テスト ・授業中の発言

3 学習計画

	各単元と主な学習内容	観点別評価の具体例
1 学期	Lesson 1 My Favorite Word The room is cleaned every day. Lesson 2 France then and now I have lived in this town for many years. Tom has lived in this town since 2007. How long have you lived in this town? Lesson 3 Rakugo goes overseas. I have just finished lunch. Tom has visited Nara once. Tom has never visited Nara. Let's talk 1 2 3 道案内をしよう Could you tell me how to get to ~? どうしましたか What's wrong? Let's Read 1 Dolphin Tale	①「受け身」「現在完了」「疑問詞」やスキットの表現を使った英文を用いて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする。 ②「受け身」「現在完了」「疑問詞」やスキットの表現を使った英文を、話したり、書いたりできる。 ③「受け身」「現在完了」「疑問詞」やスキットの表現を使った英文を、聞いたり、読んだりできる。 ④「受け身」「現在完了」「疑問詞」やスキットの表現を使った英文の構造を理解し、説明することができる。またスキットの場面での外国と日本の考え方や習慣の相違点を知る。 ⑤まとまった量の英文を読んで、筆者の考えや意図することを読みとることができる。

2 学期	Lesson4 The Story of Sadako We call the dog Pochi. It is important for me to read books every day. Lesson 5 Place to go, Things to Do a book that has beautiful pictures Mr White is a teacher who comes from Australia. This is the letter that I received yesterday. Lesson 6 I Have a Dream The girl playing tennis is Miki. The country I want to visit is France. Let' s Talk 4 玉子料理はいかがですか。Would you like～?	①「S V O Cの文型」「I tの仮主語」「関係代名詞」「分詞の後置修飾」「不定詞」やスキットの表現を使った英文を用いて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする。 ②「S V O Cの文型」「I tの仮主語」「関係代名詞」「分詞の後置修飾」「不定詞」やスキットの表現を使った英文を、話したり、書いたりできる。 ③「S V O Cの文型」「I tの仮主語」「関係代名詞」「分詞の後置修飾」「不定詞」やスキットの表現を使った英文を、聞いたり、読んだりできる。 ④「S V O Cの文型」「I tの仮主語」「関係代名詞」「分詞の後置修飾」「不定詞」やスキットの表現を使った英文の構造を理解し、説明することができる。またスキットの場面での外国と日本の考え方や習慣の相違点を知る。
3 学期	Lesson 7 English for me Tom wants me to play the piano. I don' t know why Amy is sad. Let' s talk 5 電話をしよう。Could you～? Let' s Read 2 3 We Can Change Our World The Story of Nishikori Kei	①「疑問詞＋不定詞」「間接疑問文」やスキットの表現を使った英文を用いて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする。 ②「疑問詞＋不定詞」「間接疑問文」やスキットの表現を使った英文を、話したり、書いたりできる。 ③「疑問詞＋不定詞」「間接疑問文」やスキットの表現を使った英文を、聞いたり、読んだりできる。 ④「疑問詞＋不定詞」「間接疑問文」やスキットの表現を使った英文の構造を理解し、説明することができる。またスキットの場面での外国と日本の考え方や習慣の相違点を知る ⑤まとまった量の英文を読んで、筆者の考えや意図することを読みとることができる。

4 学習方法についてのアドバイス

学習方法	学校	・ 隣の人やグループの人とともに活動し、ともに、力を伸ばしていこう。 ・ 耳、目、口をフルに活用して、効率よく学習しよう。 ・ 授業内にできるだけたくさん発音やパターン練習をしよう。 ・ 気づいた点や疑問に思う点をどんどん発表しよう。 ・ 間違いを気にせず、積極的にA L T (Y E F) の先生に話し掛けよう。
	家庭	〔予習〕 ・ 単語や熟語調べ（英和辞典使用） ・ 本文写し 〔復習〕 ・ 教科書の音読 ・ 学校で習ったことを、その日のうちにワークブックで復習する。 〔その他〕 ・ N H K ラジオ講座などを聞く。 ・ D V D 等を英語で見る。 ・ 英語で日記を書く